

様式4 (参考様式)

5年 総合的な学習の時間 「防災マップを作ろう ～地域力でみんなの命を守ろう～」

■本時の目標

大地震が起きる前から避難所で過ごすまでに、命を守るために地域の中で準備されていること、自分が地域のためにできそうなことをまとめ、さらに命を守るために、どのようなことを準備しておけばよいか、提案することができる。

本時の流れ

	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価
導入	1、フィールドワークで得た情報を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	○災害から自分の命を守るために、防災巻を書くと共に、高学年では災害時地域の中で自分は何ができるか考えられるようになることを意識付ける。 <b>(対象の明確化)</b>
展開1	調べた結果から、災害から命を守るために地域で取り組まれていること、準備されているものなどを取り出す。(記録用タブレット使用)  ○グループで・物について・施設について・取り組みについて・人についてなどに分類する。	<b>構成要素の洗い出し</b> デジタル模造紙に地域ごとのグループで書き込んでいく。前回の学習に付け加える。  <b>構成要素の精選</b> 書き込んだ要素を移動させたり、囲んだりしながら分類する。分類の仕方は提示するが、児童に名前をつけさせてもよい。
展開2	○前時までの防災巻、過去の防災マップの情報をもとに、命を守るためにさらにどのような準備、対策が必要か考えをまとめる。  ○グループごとに発表し、質疑応答を行う	<b>機能の明確化</b> 調べた結果をもとに理由をつけて、提案をさせる。その際、その提案は自分で行うか、誰に頼むのかも明確にする。
まとめ	○考えた提案を防災マップに載せることで、自分たちの考えを広めていく活動をしていくことを理解する。	★今まで学習したことや、フィールドワークをもとに、さらに災害から命を守るために準備や対策が必要か自分なりの考えをもつことができた。